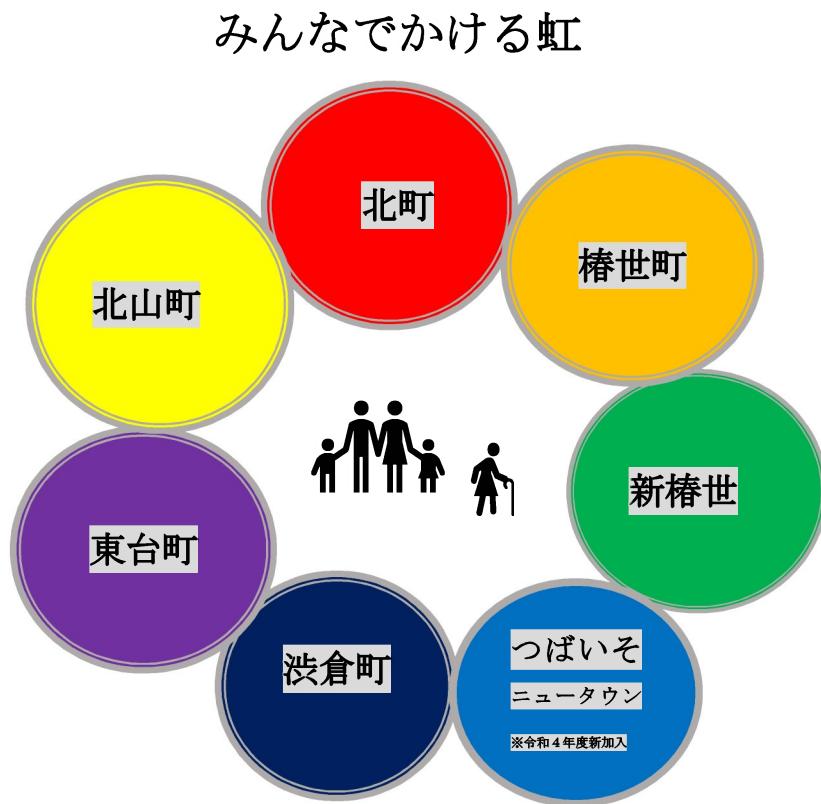


北東地区まちづくり計画



「つばいそニュータウン」が令和4年度より新たに仲間となりました。
6自治会が7自治会となりました。

平成30年4月

令和4年4月（一部修正）

北東地区まちづくり協議会

I 北東地区まちづくり協議会の発足と方向性

平成5年4月、北東地区コミュニティが設立されて以降、コミュニティセンターを活動拠点に各部会（総務、保健環境、青少年育成、文化、福祉、防災・防犯）が中心となり自治会・老人会をはじめ地域の既存組織等の協力・連携のもと、伝統文化の継承に繋がる納涼会や高齢者を尊ぶ敬老会の開催、子育ち子育て支援、歳時記の一つであるもちつき大会や門松づくり、健全な青少年の育成を目的とした事業、地域住民が安心、安全に暮らせる防災・防犯活動、季節折々を感じ、あらゆる年代層が参加し交流が深められるコミュニティづくりを行ってきました。反面、各自治会は特徴を持ち、特に椿世町、新椿世、つばいそニュータウンはコミュニティセンターに物理的、心理的にも遠く、椿世町では“公民館”等でふれあい交流・絆が深められています。

平成28年4月、新たに北東地区まちづくり協議会が設立され、より地域の特性に基づき、この地域の課題や解決方法、将来像をどのように実現していくか、住民一人ひとりが主体的に考え、まちづくり協議会事業として取り組んでいくことになりました。すなわち、従来から引き続いてきた行事・イベント事業ありきではなく、今まで受け継がれてきた住民力・組織力を活かし、少子高齢化が進む地域で人と人のつながりを大切にした「北東地区まちづくり」をどのように実現していくか、計画を策定し、中長期目標に向かって、具体的に自助・共助・公助を循環させながら「北東地区まちづくり」を進めていきます。

II 北東地区的概要（地域特性）

北東地区は、亀山市街の北東に位置し、高台の商業地域に近い東台町、渋倉町、北町、北山町と低地の「中の山パイロット茶園」に通じる椿世町、新椿世、つばいそニュータウンの7自治会のエリアで構成されています。

人口は、1,236名（平成25年）/1,168名（令和3年）で年々減少傾向にあり、令和3年度、高齢化率28.8%と市平均（27.1%）を上回っています。また、65歳以上一人暮らしの方は47名、13.7%となっています。（H29年10月）世帯数は約4世帯ですが、アパートやマンション、新興住宅も増えています。

椿世町、新椿世・つばいそニュータウンは田畠も多く自然豊かなところですが、地区を分断して貫流する椋川があり、大雨や台風時の川の氾濫が危惧され自主防災組織に取り組むと共に減災対策として現在、河川橋の拡張工事が進められています。

また、椿世町、北町、隣の栄町地内には、約3.5haの池、湿地などの水辺を整備して里山を復元した亀山里山公園「みちくさ」があります。水辺の多くの生き物が生息しており、市環境産業部では自然との共生を目標に自然とのふれあい、環境学習・体験学習の場として活用されています。

◆統計からみる北東地区

北東地区の人口推移 【各年10月1日現在】 外国人含む

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
人口(人)	1,180	1,149	1,138	1,153	1,168
男	577	593	566	579	592
女	603	580	629	574	576
14歳以下	167(14.2%)	158(13.8%)	159(14.0%)	166(14.4%)	157(13.4%)
65歳以上	332(28.1%)	327(28.5%)	332(29.2%)	333(28.9%)	336(28.8%)
世帯数	506	493	485	487	500

☆高齢率は、市平均(R3-27.1%)より高い。

自治会別世帯数

	H29年10月	R4年4月
渋倉町	8	11
東台町	65	60
北山町	85	79
北町	129	130
椿世町	64	60
新椿世	36	33
つばいそNT		10
計	387	383

北東地区の65歳以上【平成29年】

一人暮らし 43(13.0%) ※亀山市65歳以上一人暮らし 1,490人(11.5%)
65歳以上世帯 51 (10.7%) ※亀山市65歳以上世帯 1,900 (9.0%)
☆一人暮らし、高齢者世帯は市平均より高い

北東地区の福祉・医療・教育に関する社会資源状況 【令和年4月現在】

民生委員・児童委員	3	
福祉委員	10	民生委員・児童委員含む
介護保険施設	2	
障がい福祉施設	0	
医院(歯科含む)	7	小児・皮膚・眼科・耳鼻咽喉
ふれあい・いきいきサロン	2	
子育てサロン	1	
保育所	0	※亀山愛児園、第二愛護園
託児所	0	外国人(ブラジル人)対象撤退
子育て支援センター	0	※亀山愛児園コスモス俱楽部
幼稚園	0	※亀山幼稚園、東幼稚園
放課後子ども教室	0	※東小学校

日常生活に必要な商店等資源 【平成29年4月現在】

食料品スーパー等商店②、魚青物市場①、弁当店①、和菓子店①、食事処①、銀行①、
保険調剤薬局③、理髪店②、美容院②、喫茶店②、タバコ店①、写真館①、ガス店②

北東地区の地域組織 【令4年4月現在】

自治会	7	☆自主防災組織 4自治会(北町、椿世町、新椿世・東台)
老人クラブ	1	椿世町
子ども会	4	①椿世町・新椿世・つばいそニュータウン②北町③東台町・渋倉町④北山町

北東地区自治会単独行事(総会、市内一斉掃除を除く)

北山町—8月地蔵尊会式 椿世町—5月ふれあい交流会、里山祭(イベントに参加・もちつき、焼きそば)

6月・7月・11月・1月(神社本上り・天王山・秋季祭礼・新嘗祭・新年祭)

7月・8月耕作道草刈 10月防災訓練 12月篝火 1月初談会

新椿世—1月新年会、4月自主防災訓練 東台町—1月新年会

北町—7月自主防災会 10月市壯年ソフトボール大会(北・北山合同)、日帰りバス旅行(2年毎)

北東地区まちづくり協議会各専門部の主な活動事業(令和4年度計画)

総務部 —ふれあい新聞の発行・まちづくり協議会への貢献者表彰・役員及び専門部員親睦旅行企画
(2年に1回)

保健環境部 — 花壇整備・寄せ植え教室・環境パトロール・健康まつり・コミュニティセンター掃除

青少年育成部 —環境パトロール・デイキャンプと親子手作り教室・地域交流スポーツ大会・

ふれあいもちつき大会

文化部 —夏祭り納涼会・文化祭・ふれあい音楽祭の開催

福祉部 —介護予防事業「自由広場」・一人暮らし、高齢者世帯訪問・「敬老会」の開催・

なかよしサロン・クリスマス会等

防災・防犯部 —防犯教室、防災訓練の実施

事務局 —ホームページの管理

<https://hokutoumachi.wordpress.com>

III 北東地区の現状と課題

平成27年12月、「北東地区まちづくり協議会設立準備委員会」は20歳以上の住民を対象にアンケートを実施しました。回答者は271名(25%)でしたが、男女比は1:1であり、回答者のうち60歳以上は60%、30年以上居住者は48%、コミュニティ活動への参加は80%を占めていたことから、北東地区への満足度や期待について概ね反映できているのではないかと考えました。

1. 北東地区の現状（良いところ）

北東地区に満足している・・・67%

- ① 人間関係・・・昔からの付き合い、つながりがある、助け合い、優しい
- ② 居住周辺環境・・・利便性が良い、住みやすい、自然が多い、静か、駅に近い、東野公園に近く運動するのに良い
- ③ コミュニティ活動・・・いろいろな行事があり楽しい、センターに近く参加しやすい、イベントで交流できる
- ④ その他・・・ごみの分別がよい、新しい住人に親切

北東地区の人材（資格保持者）・・・34%

医療関係、車・整備士、クレーン・機械操作、危険物取扱・経理関係、IT関係、電気関係、スポーツ関係、等

まちづくり協議会活動協力の有無・・・21%

★具体的な活動がわかれれば協力していきたい・・・52.4%（強み！！）

インターネット利用状況・・・46.5%

★利用していない、これからも考えていない・・・36%

今後希望する行事・・・22%

- ① 現状維持でよい
- ② 講座・教室—交通ルール・マナー、防災、健康、パソコン・料理教室
- ③ ふれあい—みんなが集まる、ふれあいを大事にする地域、運動会（親子運動会も）、小中学生との交流、高齢者と若者の交流、等
- ④ 高齢者対策—認知症予防、高齢者の体操、気軽に参加できる行事
- ⑤ スポーツ —バレーボール・ソフトボール大会、椋川ウォーキング、ゴルフ等

2. 北東地区の現状（問題点）

北東地区に満足していない・・・8%

- ① 災害・・・椋川の氾濫、他方での土地開発
- ② 交通・・・交通の便が悪い、市内巡回バスがない、少し道が狭い
- ③ 居住周辺環境・・・放置された家屋・田畠・山林が目に付く、下水道工事を早くしてほしい

④人間関係・・・地域の人の考えが古い、活動に非協力的な風潮がある、奉仕作業の集まりが悪い

どちらともいえない・・・ 18 %

- ・若者が少なく高齢者が中心で活気がない、子どもが少なく将来に不安
- ・イベントへの参加が少ない
- ・地区の会合・コミュニティの役が重なり大変
- ・まだ住んで間もない、もう少し地区のふれあいがほしい
- ・自然に恵まれているが車の交通量が多く少しうるさい

その他の意見

- ・情報の共有が必要
- ・アパート住民とのコミュニケーションが希薄
- ・6地区の横のつながりが拡がればいい（何でもしゃべろう会等）
- ・歴史文化（歴史的魅力・可能性を発見）等
- ・町がきれいになればゴミを捨てる人も少なくなる
- ・高齢者に夏の道路清掃等はきつい 等

3. 北東地区の課題と今後に目指すまちの姿・イメージ

上記のアンケート結果を踏まえ、今後の目指すまちの姿を考えました。

- 1) 7自治会の横のつながりが薄く、住民相互のふれあい・助け合い・コミュニケーションが一部にとどまっている→まちづくり協議会の進捗、専門部会事業や各自治会情報を横断的・縦断的に住民に情報発信し、情報を共有することで、人とのつながり・地域とのつながりが充実したまちにしていきます。
- 2) 自然豊かな地区ですが、子どもから高齢者まで、みんなで自然とふれあい、交流を深めることが少ない→今まで築かれてきた地域の歴史・環境を再認識し、人が豊かな自然と親しみ、快適な生活環境が創出できるまちにしていきます。
- 3) イベントに参加する方の固定化がありますが、趣味・特技等の多種多様な人材が存在し、具体的な活動がわかれれば協力していきたいと思っている住民を味方にしている→あらゆる年代層の人が一人ひとりの夢や希望を地域で發揮できるまちにしていきます
- 4) 榛川の災害、交通量の多さによる事故の危険性、空き家空き地の増加による防犯の問題がある→一人ひとりの防災・防犯・事故予防に対する意識を高め、平常時から自助・共助で取り組み、命と暮らしの安心・安全を実感できるまちにしていきます。

5) 少子高齢による一人暮らしの方や高齢者世帯の増加は今後も進む→子どもや若者とのふれあい・交流を通して、いつまでも“ここに住んでいてよかつた”と笑顔あふれるまちにしていくことで健康寿命の延伸につなげていきます。

IV 北東地区まちづくりの基本方針

一人ひとりの力が輝き笑顔あふれるまちづくり

5つの目指す、まちの姿・イメージの具現化を図るため、全地区住民は主体的にそれぞれが持つ力を合わせ、関係団体などと連携・協働して「一人ひとりの力が輝き笑顔あふれるまちづくり」を基本方針として位置づけます。

今後、10年程度（平成30年度～39年度）を長期の目標年次とし、まちづくり協議会の事業計画に反映し、各部（総務部、保健環境部、青少年育成部、文化部、福祉部、防災・防犯部）の指針として、各部年度事業計画を立案し実施していきます。

また、毎年度まちづくり協議会の事業計画を立案する時には、P D C Aサイクルに沿ってまちづくり計画を見直し、適宜事業に反映していきます。

※PDCAサイクル

Plan（策定）⇒Do（実施）⇒Check（評価）⇒Action（改善）

V 北東地区まちづくり協議会 各専門部のまちづくり計画

1. 総務部

人とのつながり、地域とのつながりが充実したまちづくり

○計画推進の方針

北東地区まちづくり協議会活動を地区の人々や亀山市全体に「ふれあい新聞」及びホームページを通じて情報発信を行い、人とのつながり・地域とのつながりを深めていきます。

また、そのことにより様々な意見を取り入れ、魅力あるまちづくりを目指していきます。

○具体的な取り組み

1. ふれあい新聞の発行（年3回）
2. 事務局と連携し、各部が作成するホームページ掲載内容の更新管理
3. 講演会の開催（これからの中協のあり方等）
4. 研修旅行の実施（2年に1回、人とのつながり・地域とのつながりを深めより良い活動に結びつける）
5. まちづくり協議会貢献者（5年以上経験者）への表彰

2. 保健環境部

明るく 健康で 希望の持てるまちづくり

○計画推進の方針

北東地区が、『元気で、明るく、健康なまち』になるよう、まちづくりを目指します。そして、地域住民の快適な生活を創出するため、環境美化に努め、また、自然に親しみ、老若男女を問わず多くの人が楽しく、気軽に集えるイベント等を計画し、地域住民一人ひとりが「この地域に住んで良かった」と思えるまちづくりを推進します。

○具体的な取り組み

1. コミュニティセンター周辺美化、花壇の整備・手入れの実施
2. 環境パトロールの実施（各自治会道路の清掃・美化）
3. 季節の草花を活かした寄せ植え教室の開催
4. 健康まつりの開催（健康講話と健康機器を用いた健康チェック）
5. 門松づくりとコミュニティセンター大掃除
6. 亀山里山公園」「みちくさ」の草取り・清掃作業への参加

3. 青少年育成部

様々な年代の人々と交流を深め、未来あるまちづくり

○計画推進の方針

北東地区は、今後、少子高齢化が予想されることから、将来を担う子どもが様々な年齢層の人々との交流を深め、地域周辺の環境に合わせて親子のつながり、家族・三世代のつながりを目的とした活動に取り組み、豊かな心を育む未来あるまちづくりを推進していきます。

○具体的な取り組み

1. デイキャンプと親子手作り教室の開催

子ども達が中心となり積極的に取り組める、生活していく力を育む内容を検討し実施します。

2. 球技大会の開催

親子球技大会と三世代球技大会を隔年ごとに実施します。

(子ども達とシニア世代との体力差があるため、内容はレクリエーション協会やスポーツ推進委員会の協力も得ながら検討します。)

3. 餅つき大会の開催

伝統的な習慣が忘れられていく中で、衛生管理に注意し実施します。

(事業の継続については、毎年検討していきます。)

4. 亀山里山公園みちくさイベントの参加

里山の動物を見て、触れて、体感する「楽しく自然を学べるイベント」へ参加し、自然環境への興味を持つ機会にしていきます。

4. 文化部

世代をこえて笑顔でつながるまちづくり

○計画推進の方針

北東地区は、それぞれ状況や課題が違う 7 つの自治会から構成され、住民のライフスタイルも多様であることから、住民のコミュニケーションや交流が進みにくい現状があります。一方、多くの地域で人口減少、少子高齢化が進み、地域の活力低下や担い手不足が懸念されます。その中で、多様な趣味や特技を持ち、できればそれを活かしたいという想いを持ってみえる方や余暇を過ごす趣味を持ちたいと思って見える方も多数存在します。

世代をこえて文化的に住民が楽しくつながることを切り口にして、北東地区に魅力を感じいつまでも住み続けたい、将来住んでみたいと思える人が増えるよう、「世代をこえた人のつながり」を大切に事業を推進します。

○具体的な取り組み

1. 夏祭り納涼会の開催

地区住民の親睦と結びつきを深めるイベントとして、各部全員で実行委員会を組織し、中学生や地域住民、事業所などの参画も得ながら開催します。

2. ふれあい文化祭の開催

地区住民の趣味の作品の披露やコミュニケーションの交流につながる展示や創作活動などで、皆が楽しめるよう企画・開催します。

3. 文化講座の開催

趣味につながる講座を企画・開催すると共に、文化的サークル開設の支援をします。

4. 文化教室の開催

3 世代交流につながる文化的サロン開設のきっかけとなる教室の開催及びサロンの開設の支援をします。

5. その他

地域住民のニーズに応じた文化的活動の支援をします。

5. 福祉部

“ここに住んでいてよかったです”と笑顔あふれるまちづくり

○計画推進の方針

北東地区の平成37年推計人口は1,269人とやや増加するものの、高齢化率は高くなり、65歳以上一人暮らし、高齢者世帯の増加により地域の活力低下や担い手不足が懸念されます。住民一人ひとりが自分の住んでいる地域に愛着を持ち、いつまでも住み続けたいという思いを可能にしていくため、暮らしに関して安心・共生・優しさという視点で地域福祉事業を推進していきます。

また、「地域の子どもは地域の宝」の考え方の基、子どもたちの健やかな成長を願い地域みんなで見守り、子育ち子育てを応援していくと共に啓発に取り組みます。そして、子どもから高齢者まで、人と人がふれあい、健康で生きがいを持って暮らしていける笑顔あふれるまちづくりを目指します。

○具体的な取り組み

1. 高齢者介護予防等支援事業

1) 高齢者支援と関係者（機関）との連携

周りの人への見守り・声かけ・話し相手となり、福祉の課題（困りごと一買い物、ゴミ出し、草取り等が不自由）に対し関係者と連携し支援づくりに取り組みます。また、従来の介護予防事業は、見直しを行いながら継続し、介護予防・健康寿命の延伸に取り組みます。

※鈴鹿・亀山地域健康寿命（平成26） 男性78.5歳（県78.0）女性80.9歳（県80.7）

2) 一人暮らし、高齢者世帯の訪問

年1回以上行い、身体的・精神的・社会的にも健康な状態が続けられるよう
民生委員・児童委員、自治会長等と情報共有し、支援に取り組みます。

3) 敬老会の開催

2. 子育ち子育て支援事業【標語：地域の子どもは地域の宝　子ども達の健やかな成長を願い　地域みんなで見守り　子育てを応援していきましょう！】

1) 「なかよしサロン」の実施

未就学児とその保護者、妊婦を対象に楽しく遊んだり、悩みを話し合い情報交換し合う中で子育てへの不安を軽減し、楽しい子育てにつなげられるよう応援していきます。

2) クリスマス会の開催

6. 防災・防犯部

安心して暮らせる 安全なまちづくり

○計画推進の方針

北東地区は、傾斜地が多く、土砂災害の発生が懸念されます。椋川周辺地域では、大雨による避難指示が度々出されているのが現状です。災害を最小限ににくい止めるため、地域の安全は、地域で守る意識を高め、平素から自助、共助で取り組み、安心、安全な防災活動を推進します。

また、北東地区は、子どもたちが減少している反面、一人暮らしの高齢者が年々増加しています。このような社会的弱者を、犯罪や交通事故から守るため、防犯意識を高める活動を積極的に推進します。

○具体的な取り組み

1. 防災への取り組み

1. 災害危険個所のパトロールと地域防災マップの作成
2. 防災訓練の実施
3. 各自治会自主防災組織の立ち上げと訓練結果の情報交換
4. 北東地区防災機材の充実

2. 防犯への取り組み

1. 防犯教室の実施
2. 不審者等の情報交換と共有
3. 通学路、公園、空き家、空き地、不審者等徘徊地域への防犯パトロールと危険マップの作成
4. 防犯灯、街路灯及びカーブミラー等の点検及び設置要望
5. 学校、警察、消防等関係機関との連携

令和3年度活動状況（コロナ禍でイベント多数中止となりました）

福祉部 クリスマス会



防災・防犯部 パトロール



青少年育成部 親子環境パトロール



総務部 ふれあい新聞



保健環境部 花壇整備・門松つくり



文化部 ふれあい音楽祭



北東地区コミュニティセンター



住 所 亀山市北町2－3 7

電話番号 0595-83-3118

<https://hokutoumachi.wordpress.com/>